

【第一部】人財育成編

『新たな事業構造を考え出せる中核人財を育成するために必要な知見・事例』 《訴求_イメージ》

国内市場が成熟する中でグローバル市場に戦場を変えようにも
欧米勢にはビジネスモデルづくりで負け、中国、台湾、韓国を初めとした
新興国勢には価格競争で力負けしている多くの日本企業。

その様な企業では

- ・低迷しているかつての主力事業にしがみつき、その構造を大胆に変えられない
- ・次期経営層を見ても管理職の延長線上の「管理調整型」の人財しかいない

等といった硬直化した現状が見受けられる。

つまり、多くの日本企業が将来に向けて競争力を強化していくためには
自社、事業を変革できる中核人財の育成が至上命題である。

それにもかかわらず、本質的には変革には結びつかない、
形式的な人財育成を行っているのが多くの日本企業の実情だ。

今、企業に必要なのは、
戦略的な思考ができる経営リテラシーと、
自ら考えた戦略案を組織に展開していく実行力を兼ね備えた中核人財を、
会社を上げて計画的、意識的に育成していく仕組みである。

これによって初めて会社や事業を変革していく人財及びその予備軍が育ち、
硬直化した組織に変革の兆しをもたらすという好循環が生まれる。

- ◎ **なぜ多くの日本企業では事業構造等を変えていける様な
中核人財が育っていないのか**
- ◎ **新たな事業構造を考え出せる中核人財は、
具体的にどの様な能力を培うことが必要なのか、
育つためには、何が必要なのか**
- ◎ **企業の実例 など**

＜セミナーページへ戻る＞

<http://www.kokuchpro.com/event/7b9092d18fe5e046dd52e0d120b8527f/>